

かせ生訓教 沖越中

「透明性を確保する地域の会」会長
新野良子氏



「国と東電は地域の住民に寄り添う気持ちで行動してほしい」と訴える「地域の会」の新野会長

住民軽視 不信募る

国・東電は謝罪より行動

二〇〇七年七月の中越沖地震発生以降、東電の耐震設計や周辺の耐震評価などをめぐり、議論が活発化している。東電の安全性は生命にも直結しかつ重要な問題だ。東電電力は福島原発の運営を監視する「透明性を確保する地域の会」の新野良子会長が、問題が深刻に与えた影響と安全性の評価を解説する。国の原子力安全委員会の班目春樹・東京大学大学院教授も、地震動の専門家として、東電と「地域の会」の両者の役割をめぐり、中越沖地震から学ぶべきことを語った。

「地域の会」が発足したのは二〇〇三年五月。その翌六月、東電は柏崎刈羽原発に七層の耐震層がある可能性を国に報告したが、国は一切公表しなかった。東電は「一切公表しなかった」と主張し、国は「公表した」と主張する。二〇〇三年の「地域の会」でも耐震層の調査とが公表された。非公開に批判を止めて、「地域の会」は「国と東電は謝罪より行動してほしい」と訴える。



調査対策委員長
班目春樹氏(東京大学大学院教授)

東電の耐震設計や周辺の耐震評価の問題をめぐり、議論が活発化している。東電の安全性は生命にも直結しかつ重要な問題だ。東電電力は福島原発の運営を監視する「透明性を確保する地域の会」の新野良子会長が、問題が深刻に与えた影響と安全性の評価を解説する。国の原子力安全委員会の班目春樹・東京大学大学院教授も、地震動の専門家として、東電と「地域の会」の両者の役割をめぐり、中越沖地震から学ぶべきことを語った。

周辺設備も徹底検証 今月以降 点検結果を議論

「地域の会」は、東電の耐震設計や周辺の耐震評価の問題をめぐり、議論が活発化している。東電の安全性は生命にも直結しかつ重要な問題だ。東電電力は福島原発の運営を監視する「透明性を確保する地域の会」の新野良子会長が、問題が深刻に与えた影響と安全性の評価を解説する。国の原子力安全委員会の班目春樹・東京大学大学院教授も、地震動の専門家として、東電と「地域の会」の両者の役割をめぐり、中越沖地震から学ぶべきことを語った。

「地域の会」は、東電の耐震設計や周辺の耐震評価の問題をめぐり、議論が活発化している。東電の安全性は生命にも直結しかつ重要な問題だ。東電電力は福島原発の運営を監視する「透明性を確保する地域の会」の新野良子会長が、問題が深刻に与えた影響と安全性の評価を解説する。国の原子力安全委員会の班目春樹・東京大学大学院教授も、地震動の専門家として、東電と「地域の会」の両者の役割をめぐり、中越沖地震から学ぶべきことを語った。

地震動の専門家 入倉孝次郎氏(愛知)



入倉孝次郎氏は、地震動の専門家として知られている。一九九九年の阪神大震災の際、入倉氏は「神戸市立中央体育館」の耐震設計に携わった。入倉氏は、東電の耐震設計や周辺の耐震評価の問題をめぐり、議論が活発化している。東電の安全性は生命にも直結しかつ重要な問題だ。東電電力は福島原発の運営を監視する「透明性を確保する地域の会」の新野良子会長が、問題が深刻に与えた影響と安全性の評価を解説する。国の原子力安全委員会の班目春樹・東京大学大学院教授も、地震動の専門家として、東電と「地域の会」の両者の役割をめぐり、中越沖地震から学ぶべきことを語った。

「地域の会」は、東電の耐震設計や周辺の耐震評価の問題をめぐり、議論が活発化している。東電の安全性は生命にも直結しかつ重要な問題だ。東電電力は福島原発の運営を監視する「透明性を確保する地域の会」の新野良子会長が、問題が深刻に与えた影響と安全性の評価を解説する。国の原子力安全委員会の班目春樹・東京大学大学院教授も、地震動の専門家として、東電と「地域の会」の両者の役割をめぐり、中越沖地震から学ぶべきことを語った。

地震国・日本で原発と生きるということ

問題・日本が震災と向き合うとき、どう生きるべきか。一九五五年の阪神大震災以降、地震の脅威は大きく、日本では毎年約一〇七千六百日、震害の被害が記録されている。問題は、被災者が被災地を離れ、被災地の復興に力を尽くす。被災者が被災地を離れ、被災地の復興に力を尽くす。被災者が被災地を離れ、被災地の復興に力を尽くす。

欠かぬ説明責任

【被災地は復興が最優先】被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。

被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。

被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。

被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。

被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。被災地は復興が最優先。

作家 高村薫さんと考える

作家 高村薫さんと考える。作家 高村薫さんと考える。作家 高村薫さんと考える。



安全対話 被災地をめぐって。安全対話 被災地をめぐって。安全対話 被災地をめぐって。

安全対話 被災地をめぐって。安全対話 被災地をめぐって。安全対話 被災地をめぐって。

安全対話 被災地をめぐって。安全対話 被災地をめぐって。安全対話 被災地をめぐって。

安全対話 被災地をめぐって。安全対話 被災地をめぐって。安全対話 被災地をめぐって。

安全対話 被災地をめぐって。安全対話 被災地をめぐって。安全対話 被災地をめぐって。

「命第一」の発想へ転換を

「命第一」の発想へ転換を。命第一の発想へ転換を。命第一の発想へ転換を。

命第一の発想へ転換を。命第一の発想へ転換を。命第一の発想へ転換を。

命第一の発想へ転換を。命第一の発想へ転換を。命第一の発想へ転換を。

都会の人も当事者

都会の人も当事者。都会の人も当事者。都会の人も当事者。

都会の人も当事者。都会の人も当事者。都会の人も当事者。

都会の人も当事者。都会の人も当事者。都会の人も当事者。

都会の人も当事者。都会の人も当事者。都会の人も当事者。

都会の人も当事者。都会の人も当事者。都会の人も当事者。

思考停止の政治家

思考停止の政治家。思考停止の政治家。思考停止の政治家。

思考停止の政治家。思考停止の政治家。思考停止の政治家。

思考停止の政治家。思考停止の政治家。思考停止の政治家。

思考停止の政治家。思考停止の政治家。思考停止の政治家。

思考停止の政治家。思考停止の政治家。思考停止の政治家。

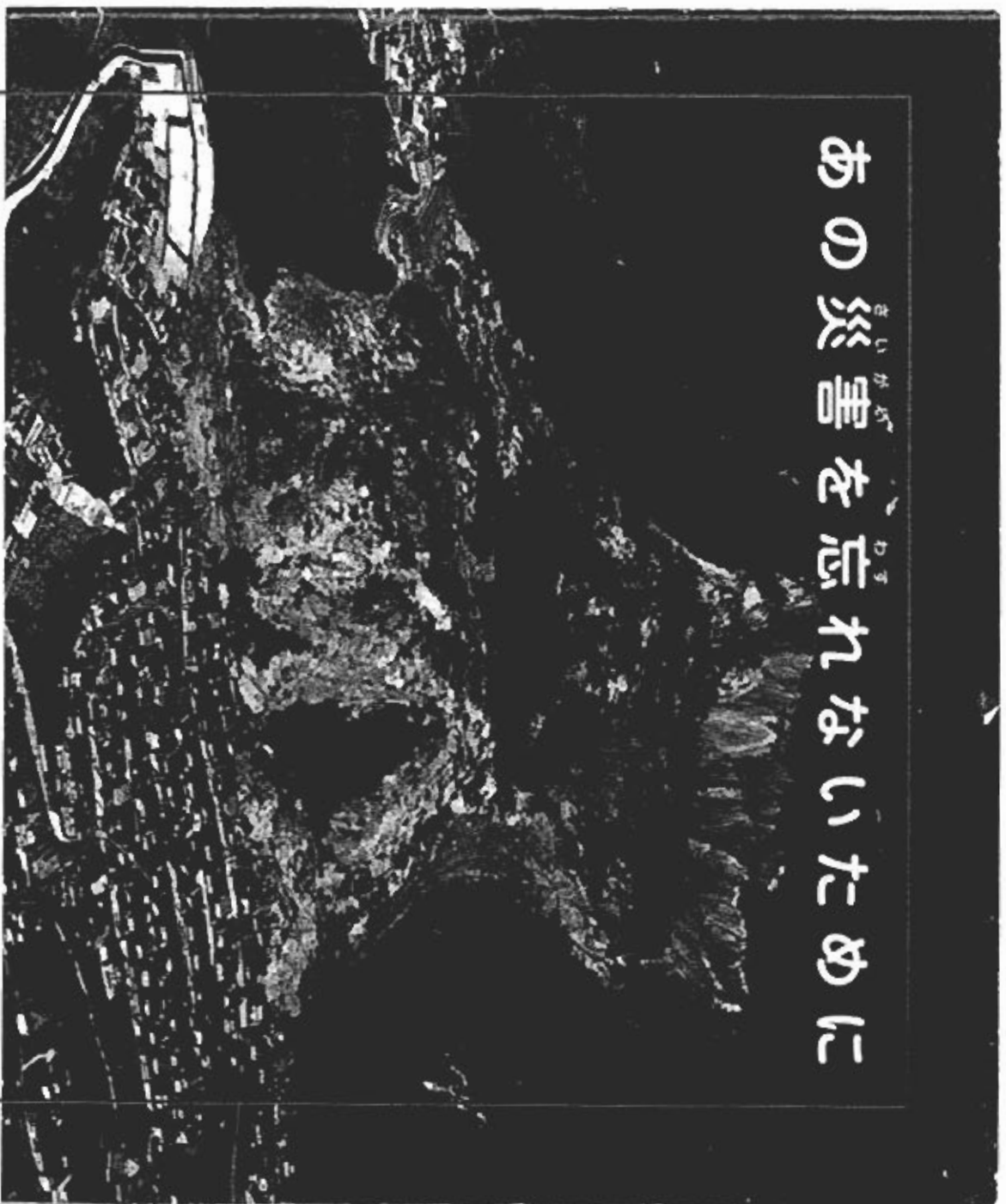
- 32面 活断層調査の解説と被災住民の思い
- 33面 原発の被害状況と今後の点検の行方
- 34面 地震と原発 地元代表と読者に聞く

新年特集

Empowered by Innovation



あの災害さいがいを忘わすれないために



地	附	山	
じ	つ	や	ま
地	す	べ	り